

平成28年度

第40回全日本少年サッカー大会

姫路地区予選

会期：平成28年9月17日（土） 球技スポーツセンターメイン・多目的
平成28年9月18日（日） 球技スポーツセンターメイン・多目的
平成28年9月19日（月） 球技スポーツセンターメイン・多目的
平成28年9月22日（木） 球技スポーツセンターメイン・多目的
平成28年9月24日（土） 球技スポーツセンターメイン・多目的
平成28年9月25日（日） 球技スポーツセンターメイン・多目的

大会実行団：南西ブロック

（英賀保、大津茂、津田、広畑、余部、西播、網干、勝原）

第40回（平成28年）全日本少年サッカー大会姫路地区予選 大会要項

1 日時及び会場

平成28年	9月17日（土）	球技スポーツセンターメイン・多目（PM）	4面
	9月18日（日）	球技スポーツセンターメイン・多目	4面
	9月19日（月）	球技スポーツセンターメイン・多目	4面
	9月22日（木）	球技スポーツセンターメイン・多目	4面
	9月24日（土）	球技スポーツセンターメイン・多目	4面
	9月25日（日）	球技スポーツセンターメイン（PM）・多目	4面

2 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体及びその団体に所属する選手で、20歳以上の指導者が試合に同行すること。
- 2) 選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。

3 競技規定

- 1) ルール 日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」に準ずる。
ただし、本要項に定められている事項が優先される。
- 2) 試合球 4号球とする。
- 3) 試合 <予選リーグ>
 - (1) リーグ戦方式で、試合時間は20分－5分－20分とする。
 - (2) 勝点制（勝ち3点、引分け1点、負け0点）で順位を決定する。
 - (3) 同勝点の場合は次の順で決定する。
 - (4) 1) 勝ち点、2) 当該チームの対戦成績、3) 得失点差、4) 総得点、5) 抽選<決勝トーナメント>
 - (1) トーナメント戦で、20－5－20分とする。同点の場合はPK方式で決定する。
 - (2) 但し、準決勝・決勝戦は10分（5分×2）の延長を行い、なお決しない場合はPK方式で決定する。
 - (3) PK方式を用いる場合は、審判の指示に従って2分以内に限って、代表者1名が指示のためピッチに立入ることができるが、選手は外に出られない。
 - ① 試合開始30分前に本部にて選手（交代要員含む）チェックを行う。
（抽選会前に提出済みの選手登録用紙にて確認する）
 - ② 試合開始時に、選手8名が揃わない時は棄権とする。
 - ③ 棄権の場合は0－5の負けとする。
- 4) 審判員 ① 4人審判制とする。
主審1名と副審2名、補助審判1名が指名される。
補助審判については、交代時にライン付近で交代の確認をお願いします。
試合開始前に交代選手含む全選手の用具チェックを行う。
- 5) 選手交代 ① 「自由な交代」を採用し、交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できるものとする。
 - ② ベンチ側のタッチライン側中央に交代ゾーン（ハーフラインを挟んで両サイドに3m）を設ける。
 - ③ 競技者が交代要員と交代する場合、次の通り行う。
 - ・交代が行われることについて、事前に主審に通知する必要はない。
 - ・交代は、インプレーまたはアウトオブプレー中に、交代ゾーンにて行われる。ただし、交代で競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからでもフィールドを離れてもよい。
 - ④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- 6) 反則退場 ① 1試合で1回の警告は、以降の試合には累積しない。
 - ② 試合中退場処分を受けた選手は、本大会の次試合の出場を停止する。
 - ③ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- 7) ユニフォーム ① 靴のポイントは交換式を認めない。
 - ② ユニフォームは全選手、色違いをできるだけ2セット用意すること。
もし用意できない場合はビブスでも可とする。急きょフィールドプレーヤーがGKをする場合、色の判別ができるユニフォームかビブスでも可とする。
- 8) 飲水タイム 大会当日の天候状況により、大会本部にて判断して前後半の各中間時に主審の指示で約1分間の給水を取ることができる。

- 9) ベンチ ベンチには登録選手と指導者2名以外は入れない。またピッチと観覧席が分離された会場ではピッチにも適用する。
- 10) 雨天時 雨天決行。但し、午前7時現在で警報が発令されている場合は、延期とする。その時は、連絡網で団の代表者に連絡します。

4 規律フェアプレー

大会参加選手及び指導者は、競技規定を遵守し、J F Aサッカー行動規範に則り大会に望むこと。

- 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対しても紳士的態度で望むこと。
- 2) 応援者（含、保護者）は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

5 その他

- 1) 優勝、準優勝チームは、兵庫県大会の参加資格を与える。但し、フェアプレーの精神から姫路代表として、ルール上の完全な違反行為があった場合はこの限りでない。
- 2) 負傷した時の処置は、当該チームが責任を持って行うこと。
- 3) 提出済みの選手登録用紙の当日変更（背番号含め）は不可とする。

6 大会事務局

英賀保サッカークラブ
齊藤 知也

飲水タイムについて

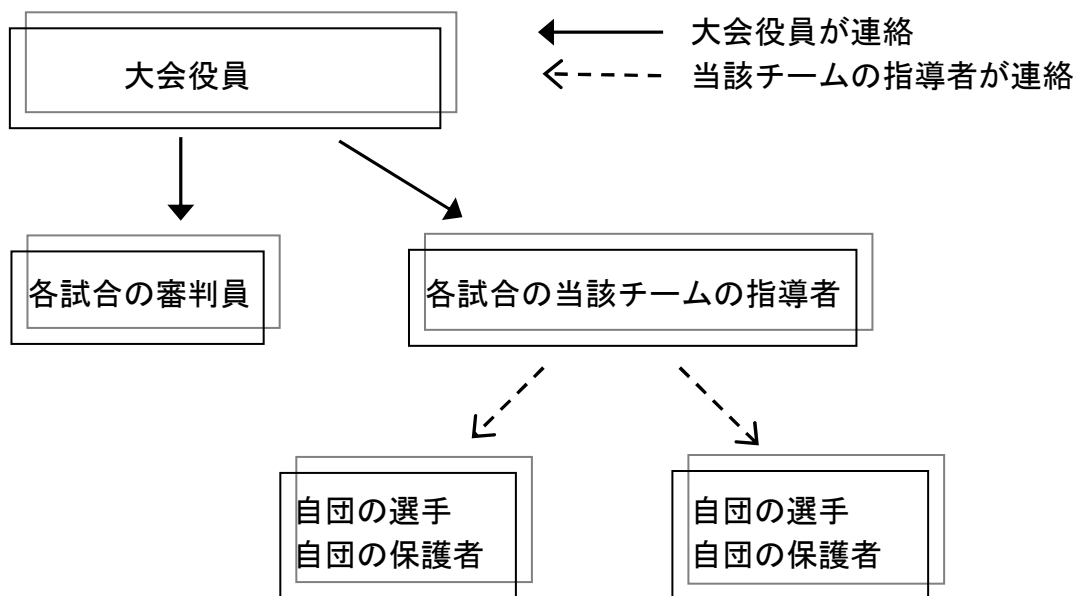
大会役員と致しましては、今大会は基本的に全試合飲水タイムを取るようになりますので各団の指導者、選手及び保護者に周知して頂き準備の程お願いします。
ただし、当日の天候により飲水タイムを取らなくてもいいと大会役員が判断した場合は各試合の前に、当該チームの指導者及びその試合の審判員に対して会場当番である大会役員より連絡しますので、当該チームは対応されるようお願いいたします。

飲水タイム…大会役員の指示がない限り全試合を適用とさせていただきます
(各団、給水タイムがスムーズにいくよう準備願います。)

【注意事項】

- ① **すぐに給水できるように、容器に工夫**
(スクイズボトルやコップなどを使って)
- ② **飲水タイムの時、控えの選手の準備。**
(ゼッケンや異色のユニホームの着用・給水タイム時には着席など)
- ③ **グラウンド内には、保護者の方は入れませんので注意して下さい。**
- ④ **飲水中タイムでは、指示や指導はできません。**
(主審とベンチ側の線審はチェックする)
- ⑤ **メイングラウンド(人工芝)は、水以外の飲み物は持ち込み禁止です**

* 飲水タイムを取らない場合の連絡方法



第40回（平成28年）全日本少年サッカー大会姫路地区予選

<予選リーグ>

各リーグ上位1チームが決勝トーナメント進出（※Jは上位2チーム）
市民大会ベスト4をシードする（1位①、2位②、3位③、4位④）

A		B		C		D	
①	網干	②	津田	③	別所	④	安室A
11	安室B	12	砥堀	13	大塩	14	広畑A
21	城北B	22	白鷺A	23	英賀保B	24	妻鹿
E		F		G		H	
5	手柄	6	白鳥	7	西播	8	荒川
15	白鷺B	16	水上	17	やわた	18	城北A
25	広畑B	26	山田	27	香寺	28	余部
I		J					
9	夢前	10	御国野				
19	神崎	20	四郷				
29	大津茂	30	英賀保A				
		31	船場				

<決勝トーナメント>

